

## 簡易水道事業経営評価（17年度）

### 1 17年度決算の概況

#### （1）収入について

収入は予算現額78,565千円に対し、調定額81,970千円、収入済額79,676千円、収入未済額2,277千円、不納欠損額17千円で、収入率は97.2%となりました。

前年度に比べ、調停額8,308千円（11.28%）、収入済額8,134千円（11.37%）、収入未済額194千円（9.34%）の増であり、不納欠損額は20千円（54.6%）の減となりました。収入未済額の内訳は、簡易水道使用料の現年度分812千円、滞納繰越分1,465千円となっております。

#### （2）支出について

支出は予算現額78,565千円に対し、支出済額17,308千円、不用額61,257千円で、執行率は22.03%となりました。

前年度に比べ、支出済額は16千円（0.09%）の減となりました。

#### 【前年度決算との比較】

歳入	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
使用料・手数料	24,446	23,836	610
繰越金	54,218	46,689	7,529
諸収入	1,012	1,017	-5
合計	79,676	71,542	8,134

歳出	(千円)		
	17年度	16年度	増減額
事業費	17,308	17,324	-16
合計	17,308	17,324	-16
純損益	62,368	54,218	8,150

### 2 経営評価

中期経営計画の経営評価の手法は、目標や実績を数値で測定し、目標の達成度が明瞭に分かりやすいベンチマーク（指標）による手法としました。

#### （1）健全性に関する指標

簡易水道事業の「経営の健全性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
純損益	千円		4,266	8,150		4,204
収益的収支比率	%		121.2	147.1		120.9

17年度の分析評価

事業の経営状況を評価する純損益は、計画値4,266千円の黒字に対し、決算額は8,150千円の黒字であり、計画値を3,884千円上回りました。

この原因は、収益で計画値を1,112千円上回り、費用で計画値を2,772千円下回ったためです。

また、経営の安定性を判断する指標である収益的収支比率については、計画値を121.2%と設定していましたが、修繕費の減少などから決算では147.1%と計画値を25.9ポイント上回りました。

(2) 効率性に関する指標

簡易水道事業の「経営の効率性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
給水人口	人		1,563	1,534		1,561
年間総給水量	m <sup>3</sup>		209,212	203,760		209,317
1日平均給水量	m <sup>3</sup>		573	558		573
有収水量	m <sup>3</sup>		-	182,018		-
使用料収入	千円		23,836	24,446		23,354
職員1人当たり 使用料収入	千円		23,836	24,446		23,354
人件費	千円		6,107	6,020		6,168
使用料収入に対する 人件費の割合	千円		25.6	24.6		26.4
有収水量1m <sup>3</sup> 当たり 人件費	円		-	33.1		-

17年度の分析評価

給水人口は、給水区域内人口の減少により、計画値に対して29人の減となりました。それにより、年間総給水量も減少しております。

( 3 ) サ-ビス内容に関する指標

簡易水道事業のサ-ビス内容に関する指標の実績値は次表のとおりです。

	具体的内容	単位	17年度 実績
普及率		%	85.5
水道管の破損	本管の漏水件数	件	0
口座振替の割合		%	91.0

17年度のサ-ビス提供の取組み

当市の簡易水道は、深井戸を源水としており、水質は良質で安定しております。  
これを安定して供給するための維持管理に努めています。